

2011年度

科目名	現代社会論				
担当教員	山口 暁				
配当	人社2		コード	34026	
開期	後期	講時	水曜日4限	単位数	2
授業テーマ	現代社会の意味とかかえる問題について				
目的と概要	昨今のメディア革命と情報化、さらには交通手段のスピード化による地球的(グローバル)規模での交流が可能な現代、その中で日本社会はもちろんのこと、自分たち自身の生活さえも、どのような影響を受けているかを、国際化・産業化・情報化などの概念をもとに考えていきます。				
成績評価法	授業への参加度10% 時間内レポートの評価10% 課題レポート20% 期末テスト60%を含むによる総合評価				
テキスト	使用しない				
参考書	授業内容に応じて指示します				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	自分の日常生活の振り返りと、新聞の社会面などを注意するようにして、レポート作成ができるようにしてほしい。資料として、新聞の記事などを使用します。履修者も普段から新聞・テレビなどのニュースに注意する習慣をつけてください。				
講義計画					
講義計画 1. 「現代社会」論について 「階級と社会移動」の意味から考えます。 2. 国際化とは 3. 国際社会と異文化の相互理解 4. 外国人労働者と日本社会 (エスニシティと文化の多元化) 5. 産業社会とポスト産業社会、(産業社会化) 6. 産業構成の変化と人口構成の変化 7. ポスト産業社会と大衆社会論 8. 情報化社会 (情報化社会) 9. 情報化(社会)と福祉 10. 社会問題 (逸脱とラベリング理論) 11. 差別(属性主義と実績主義) 12. 女性の地位と派遣労働 13. 若者貧困層の問題 高齢者差別 14. 現代社会と社会病理 15. 現代社会と生活環境 以上は一応の目安です。実際の時間数に応じて前後関連項目を関係づけて講義することもあります。					